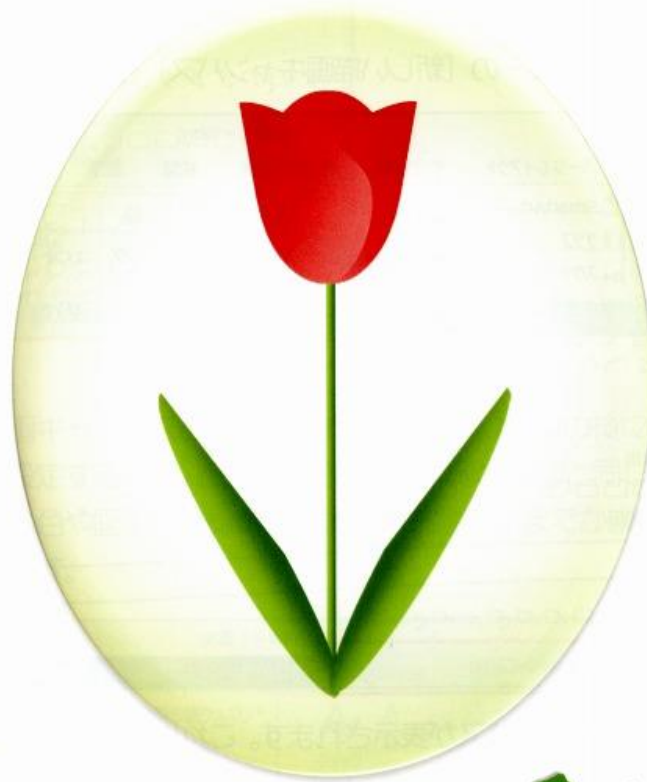




【作品1】春の風を感じる

チューリップ



■レッスン内容

- Word の図形機能に用意されている図形を組み合わせることで「チューリップ」のイラストを描く方法について学習します。
- イラストの描画には、Word で図形描画を行うために用意されている「描画キャンバス」を使用します。

■前提となる知識

- Word の基本操作（Word の起動と終了、ファイルの保存など）ができることを前提

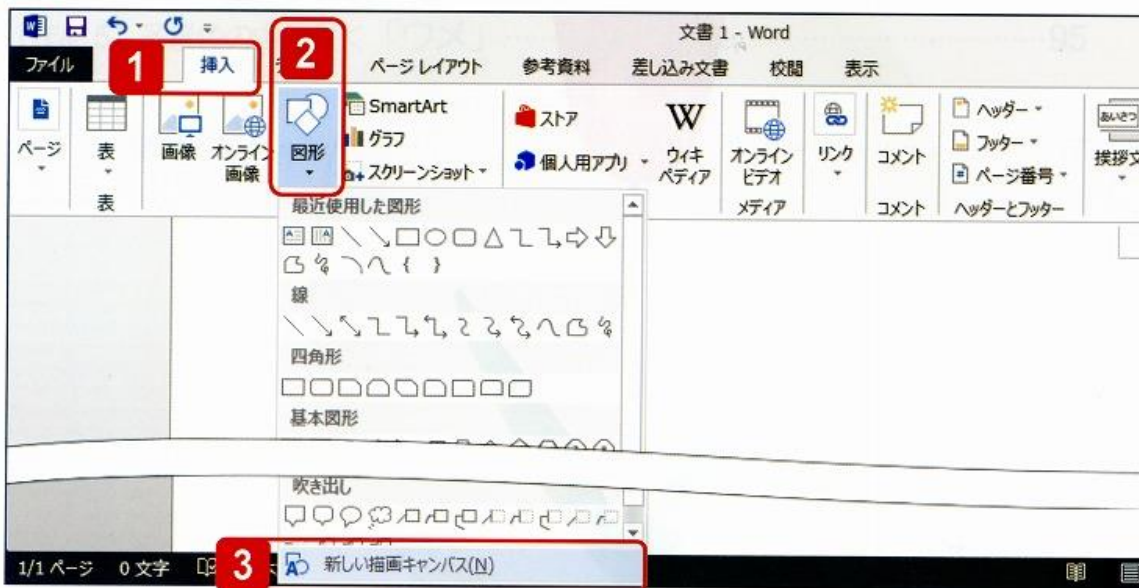
Step 1 チューリップの「茎」と「葉」を描きます。

操作手順の解説は、Word を起動して白紙の文書を開いた時点からの開始となります。

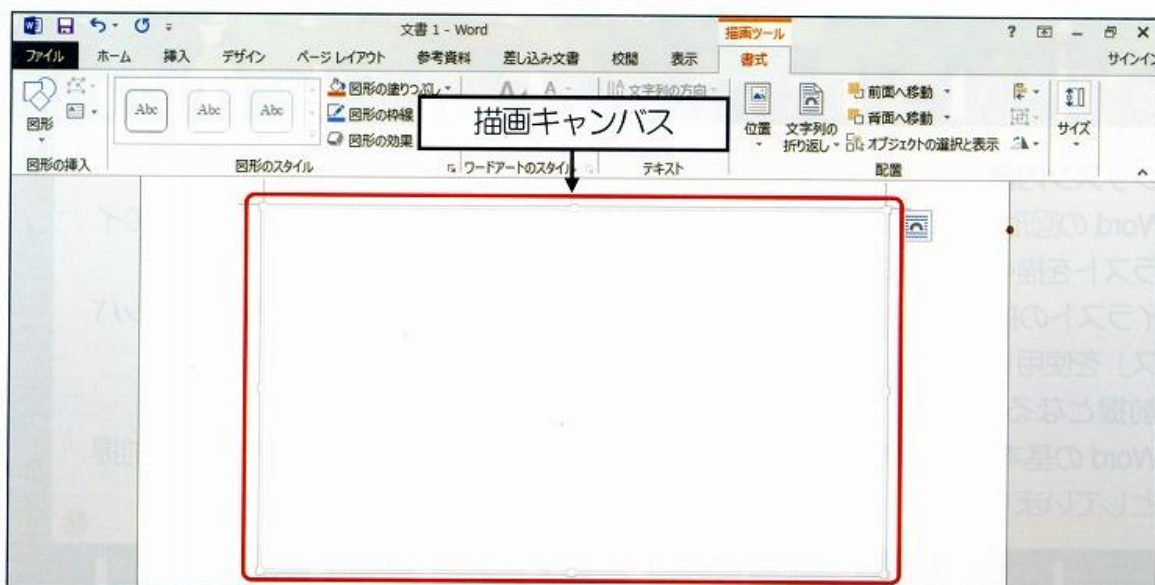


操作開始

- 1 [挿入] タブをクリックします。
- 2 [図] グループにある [図形の作成] をクリックします。
- 3 表示される図形の一覧メニューの [新しい描画キャンパス] をクリックします。

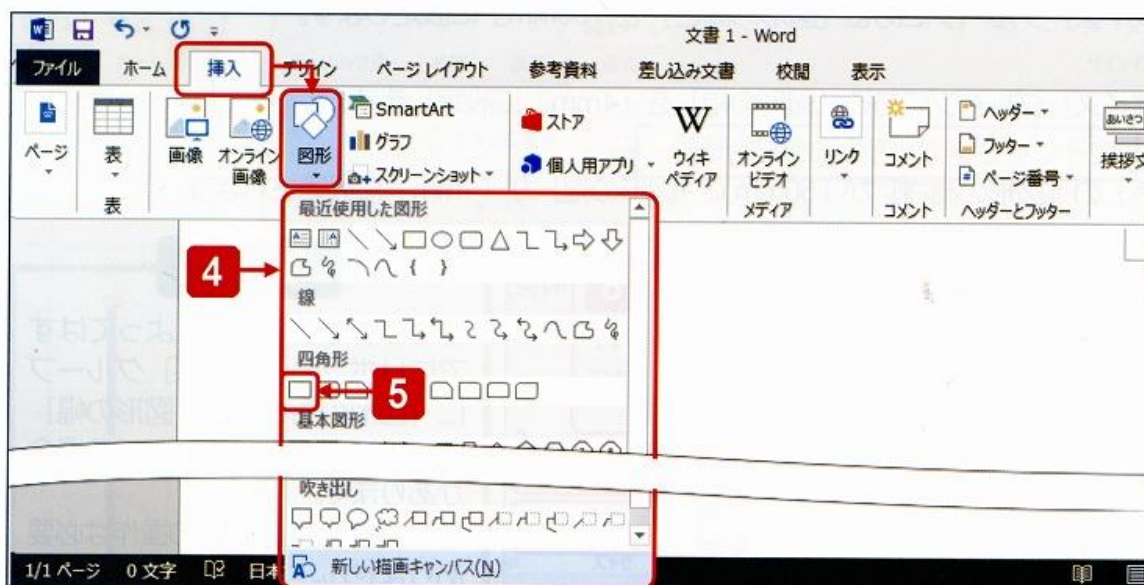


編集ウィンドウに描画キャンパスが表示されます。これ以降の操作は、すべて描画キャンパス内で行います。

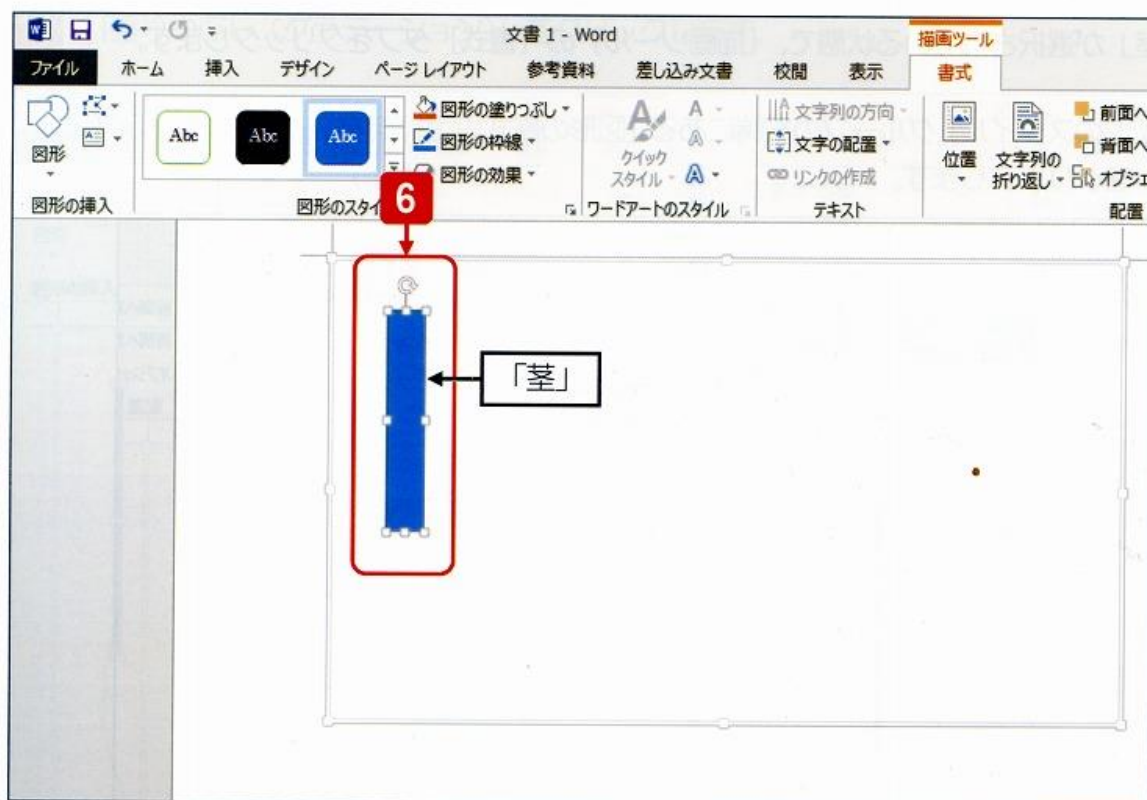


4 1 から 2 までと同様の操作で図形の一覧メニューを表示します。

5 表示される図形の一覧メニューの [四角形] セクションにある [正方形/長方形] をクリックします。



6 次の図を参考に描画キャンパスの左端に長方形を描きます。この後の操作で図形の塗りつぶしの色やサイズを設定するので、この操作ではおおよそ次の図と同じサイズでかまいません。また、塗りつぶしの色や図形の枠線の色と太さも既定のままでもかまいません。これを「茎」とします。



- 7 「茎」が選択されている状態で、[描画ツール] の[書式] タブをクリックします。
- 8 [サイズ] をクリックして [サイズ] グループを表示します。
- 9 [サイズ] グループにある [図形の高さ] を「50mm」に設定します。
- 10 [サイズ] グループにある [図形の幅] を「1mm」に設定します。

「茎」の [図形の高さ] が「50mm」、[図形の幅] が「1mm」に設定されます。

参考

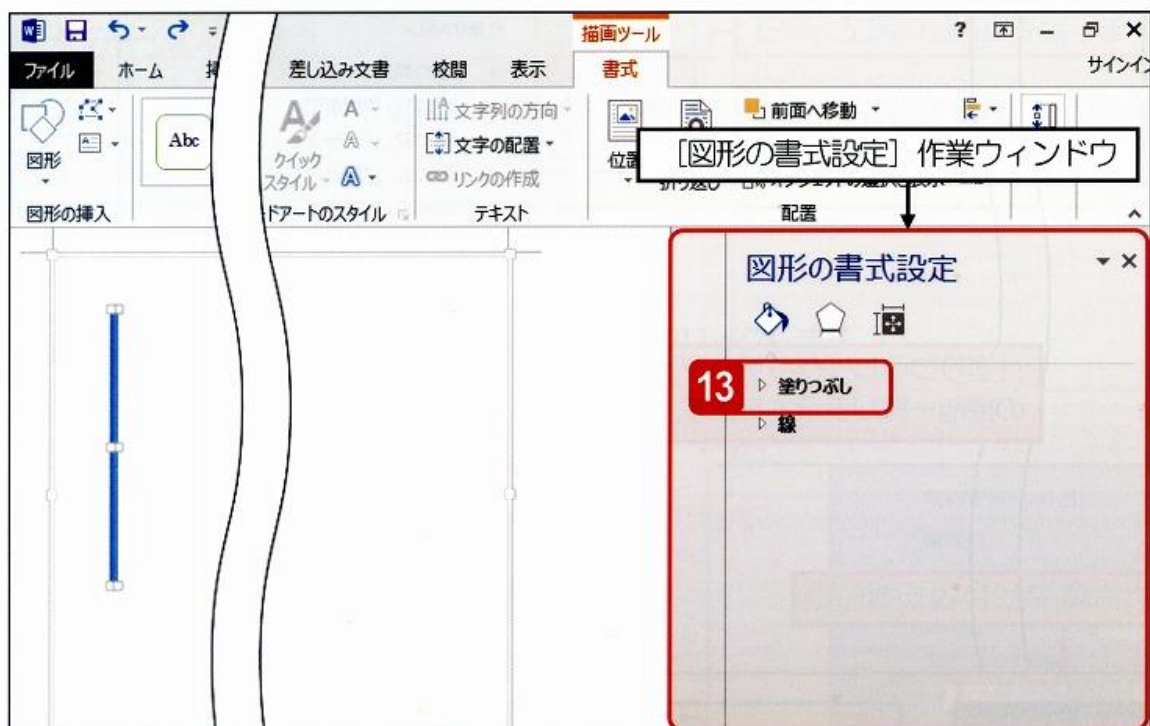
画面の解像度の違いによってはすでにリボンの [サイズ] グループに [図形の高さ] と [図形の幅] の設定項目が表示されている場合があります。その場合には、8 の操作は必要ありません。

- 11 「茎」が選択されている状態で、[描画ツール] の[書式] タブをクリックします。
- 12 [図形のスタイル] グループの右端にある [図形の書式設定] 作業ウィンドウを表示するボタンをクリックします。



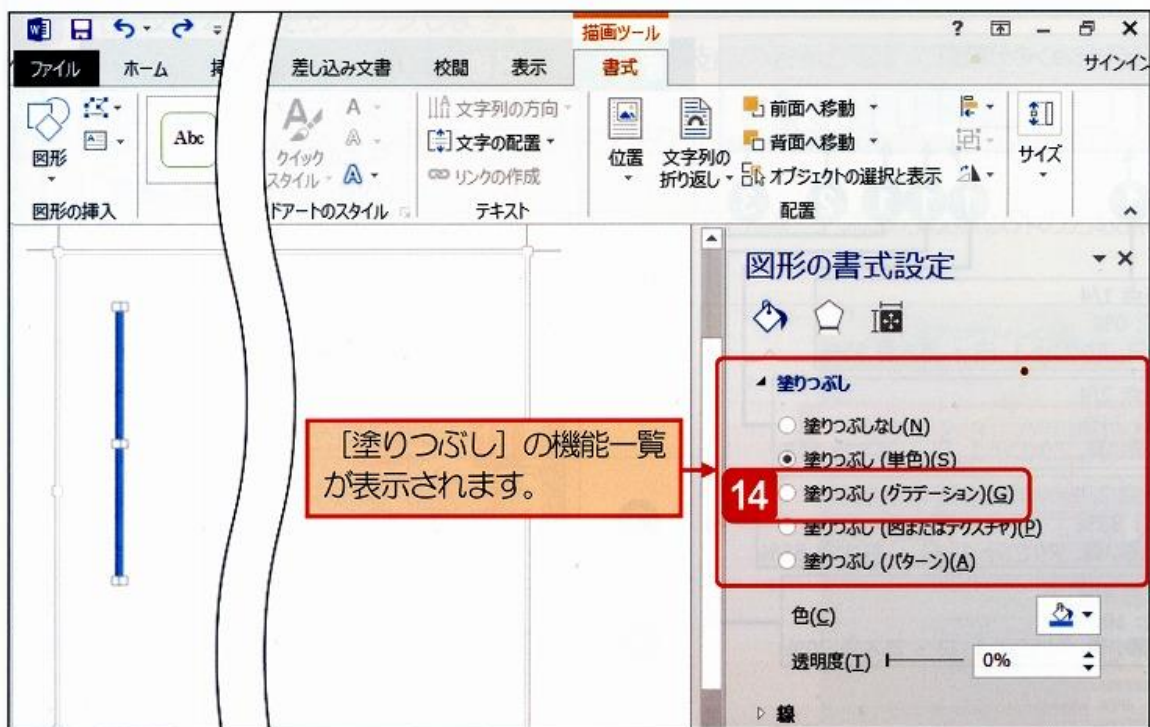
編集ウィンドウの右端に [図形の書式設定] 作業ウィンドウが表示されます。

13 [塗りつぶし] をクリックします。

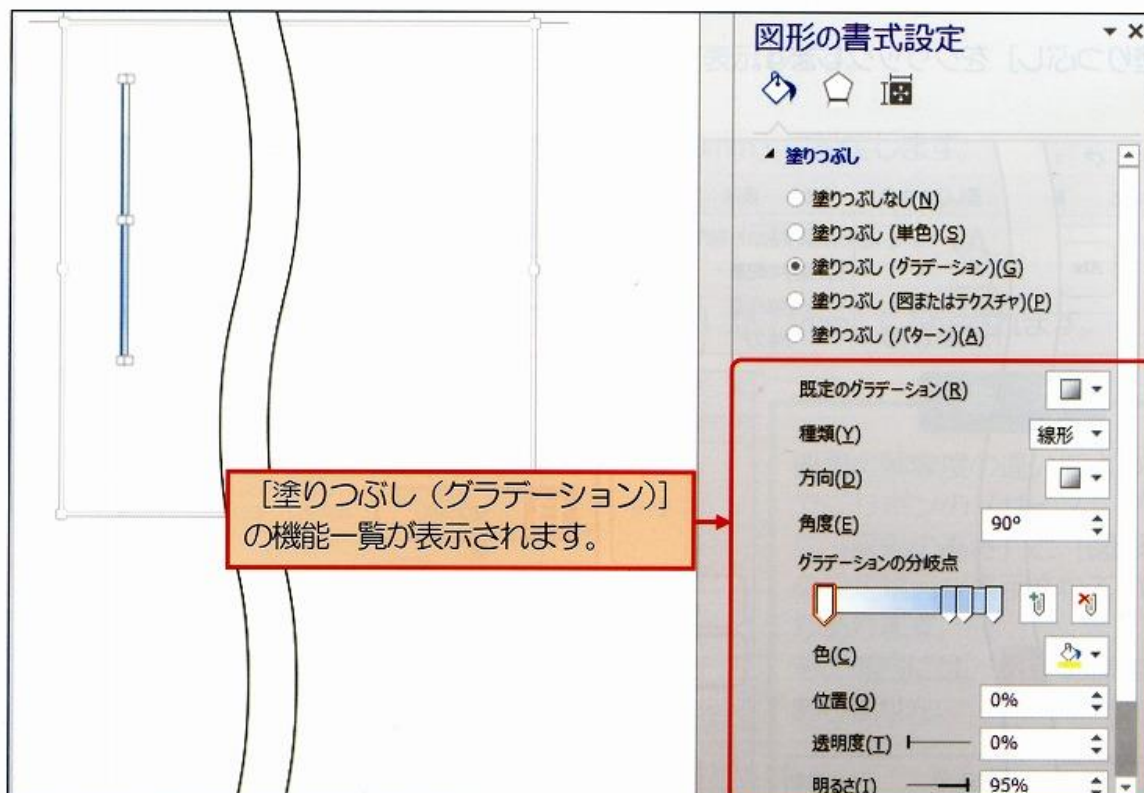


[塗りつぶし] の機能一覧が表示されます。

14 [塗りつぶし (グラデーション)] をクリックします。



[塗りつぶし (グラデーション)] の機能一覧が表示されます。

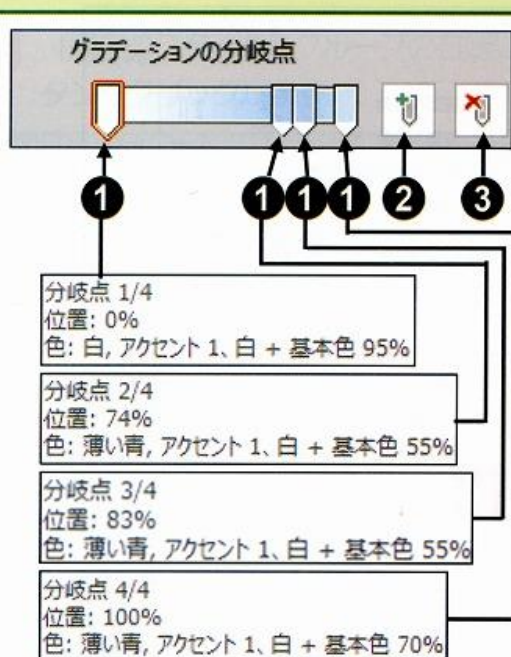


操作のポイント

グラデーションの分岐点の機能

[塗りつぶし (グラデーション)] の [グラデーションの分岐点] には次のような機能があります。

注意: [塗りつぶし (グラデーション)] を何度か使用したことがある Word では、グラデーションの分岐点の「色」、「数」、「位置」などがテキストの図と異なることがあります。

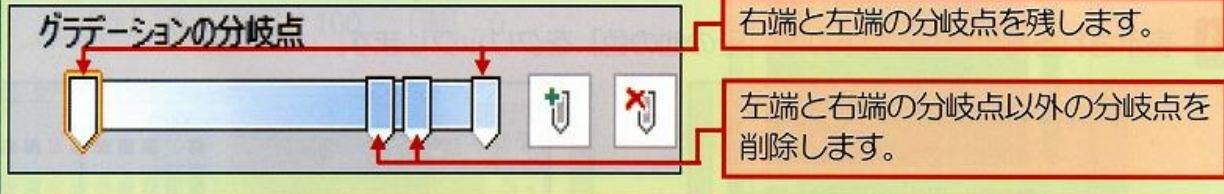


番号	名称	機能
①	分岐点	グラデーションに使用する色の分岐点(色と色の境界)を指定します。分岐点は分岐点の番号と分岐点の総数による分数で表示されます。 例) 分岐点 1/4 マウスのドラッグで分岐点を移動できます。
②	グラデーションの分岐点の追加	グラデーションの分岐点を追加します。
③	グラデーションの分岐点の削除	グラデーションの分岐点を削除します。

操作のポイント

グラデーションの分岐点の削除

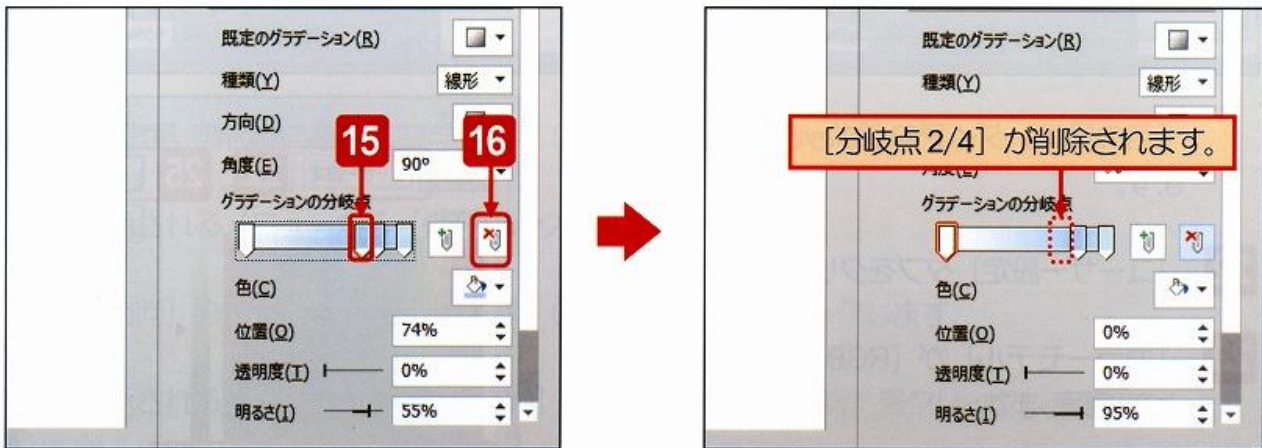
これから [分岐点] を削除する操作を行います。分岐点の数がこのテキストと異なる場合は、これからの操作を参考に右端と左端の分岐点を残して、そのほかの分岐点を削除して下さい。



15 [分岐点 2/4] をクリックします。

16 [グラデーションの分岐点の削除] ボタンをクリックします。

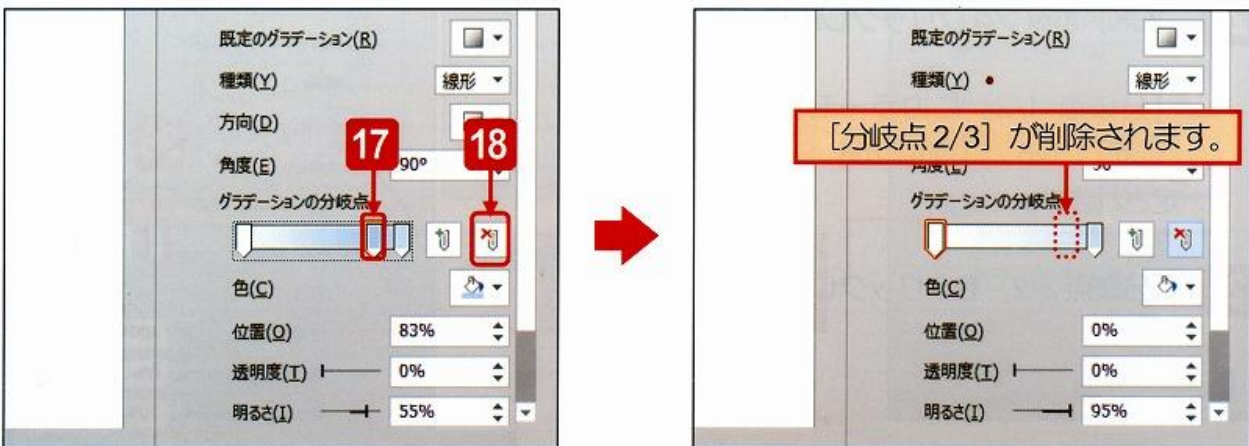
[分岐点 2/4] が削除されます。



17 [分岐点 2/3] をクリックします。
(注意：分岐点の総数が3つになったため、分岐点の表示が変わります。)

18 [グラデーションの分岐点の削除] ボタンをクリックします。

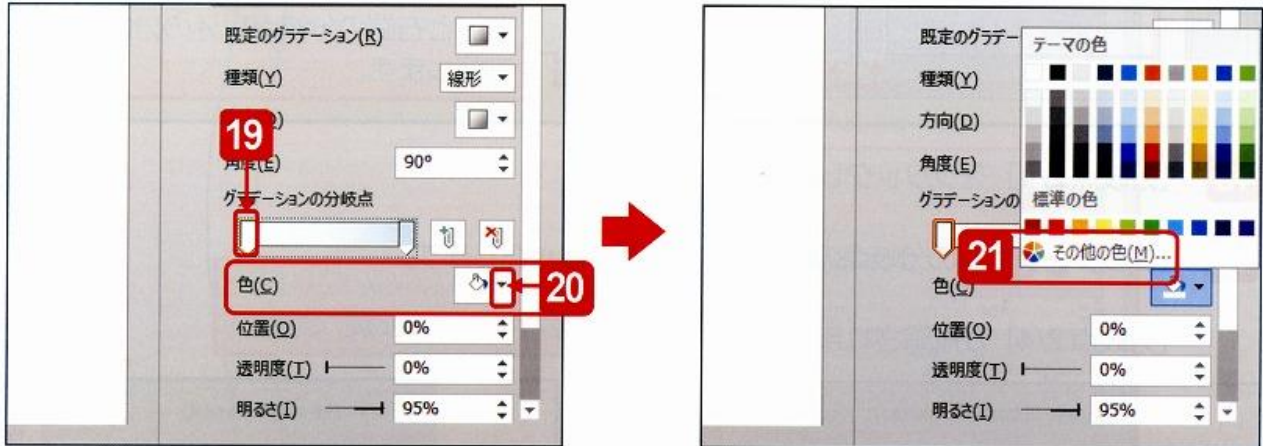
[分岐点 2/3] が削除されます。ここまでの操作で右端と左端の分岐点以外の分岐点を削除することができました。



19 [分岐点 1/2] をクリックします。
(注意：分岐点の総数が2つになったため、分岐点の表示が変わります。)

20 [色] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

21 表示されるカラーパレットから [その他の色] をクリックします。



[色の設定] ダイアログボックスが表示されます。

22 [ユーザー設定] タブをクリックします。

23 [カラーモデル] が [RGB] となっていることを確認します。

24 [赤]、[緑]、[青] の数値ボックスに次の数値を入力します。

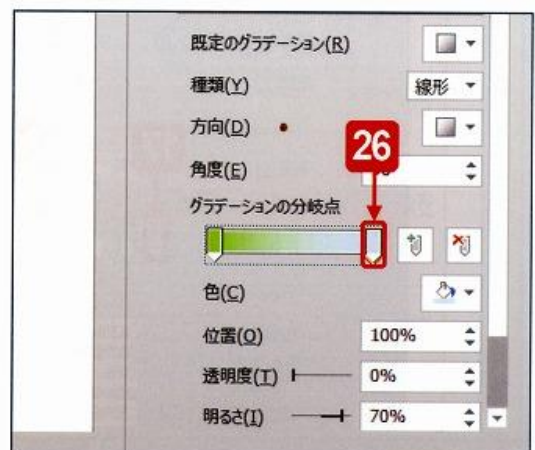
[赤]：146 [緑]：208 [青]：80



25 [OK] ボタンをクリックします。

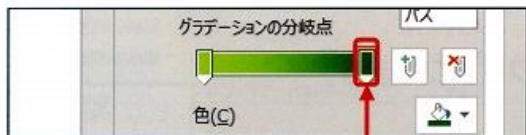
[分岐点 1/2] にカラーモデル RGB の色 ([赤]：146 [緑]：208 [青]：80) が設定されます。

26 [分岐点 2/2] をクリックします。



27 **20** から **23** までと同様の操作で [色の設定] ダイアログボックスを表示して、カラーモデル [RGB] の [赤]、[緑]、[青] の数値ボックスに次の色の数値を入力します。

[赤] : 0 [緑] : 100 [青] : 0



28 [OK] ボタンをクリックします。

[分岐点 2/2] にカラーモデル RGB の色 ([赤] : 0 [緑] : 100 [青] : 0) が設定されます。



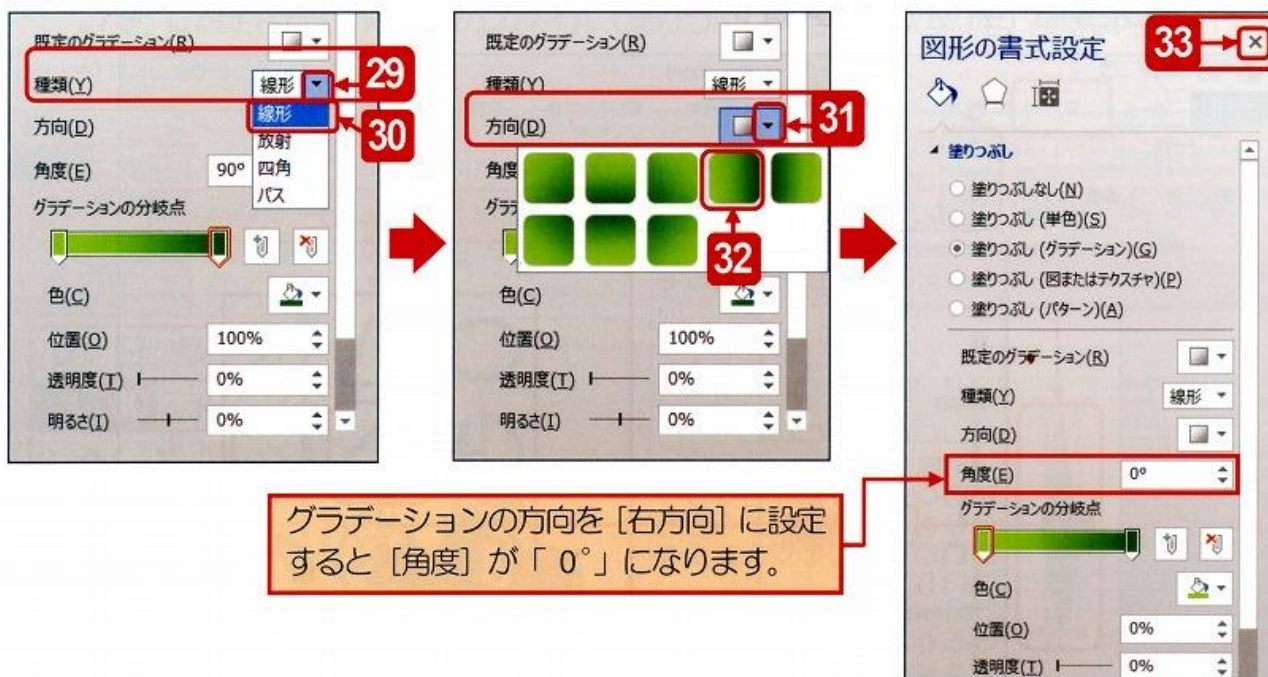
29 [種類] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

30 表示されるメニューから [線形] をクリックします。

31 [方向] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

32 表示される [グラデーションの方向] メニューから [右方向] をクリックします。

33 [閉じる (X)] ボタンをクリックして [図形の書式設定] ウィンドウを閉じます。



ここまでの操作で「茎」を緑のグラデーションで塗りつぶすことができました。

34 「茎」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

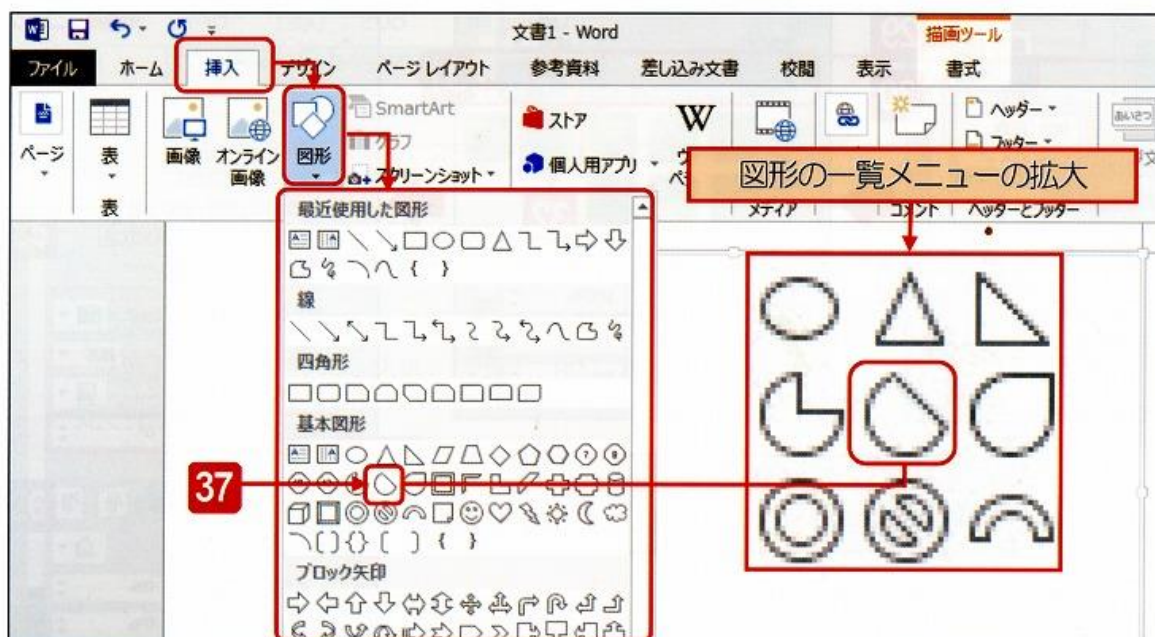
35 [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

36 表示されるカラーパレットから [線なし] をクリックします。

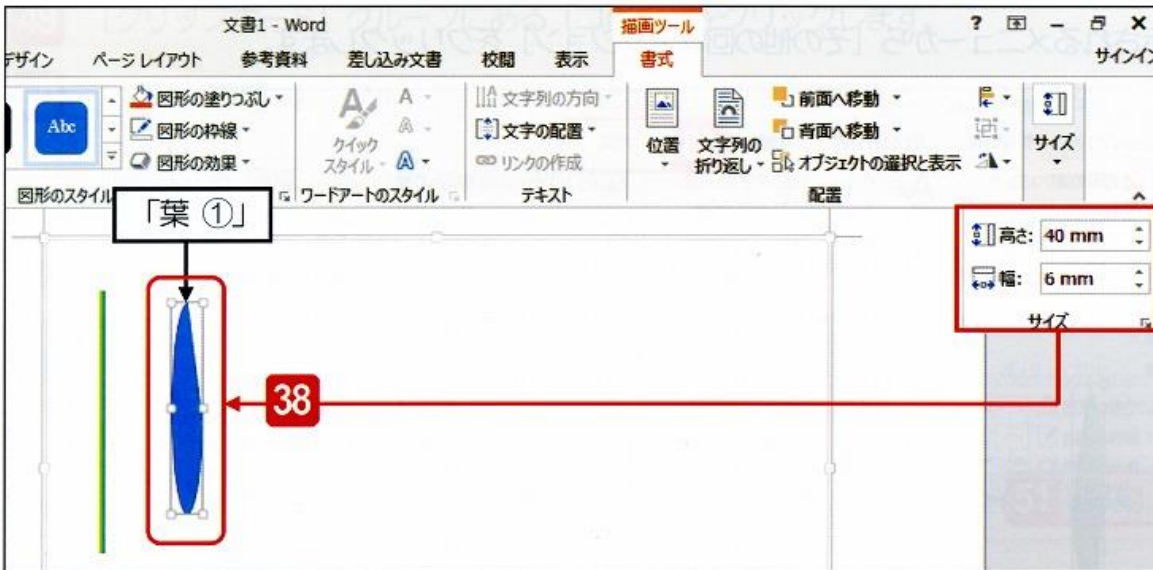
「茎」の枠線が非表示になります。




37 1 から 2 までと同様の操作で図形の一覧メニューを表示してから、[基本図形] セクションにある [弦] をクリックします。

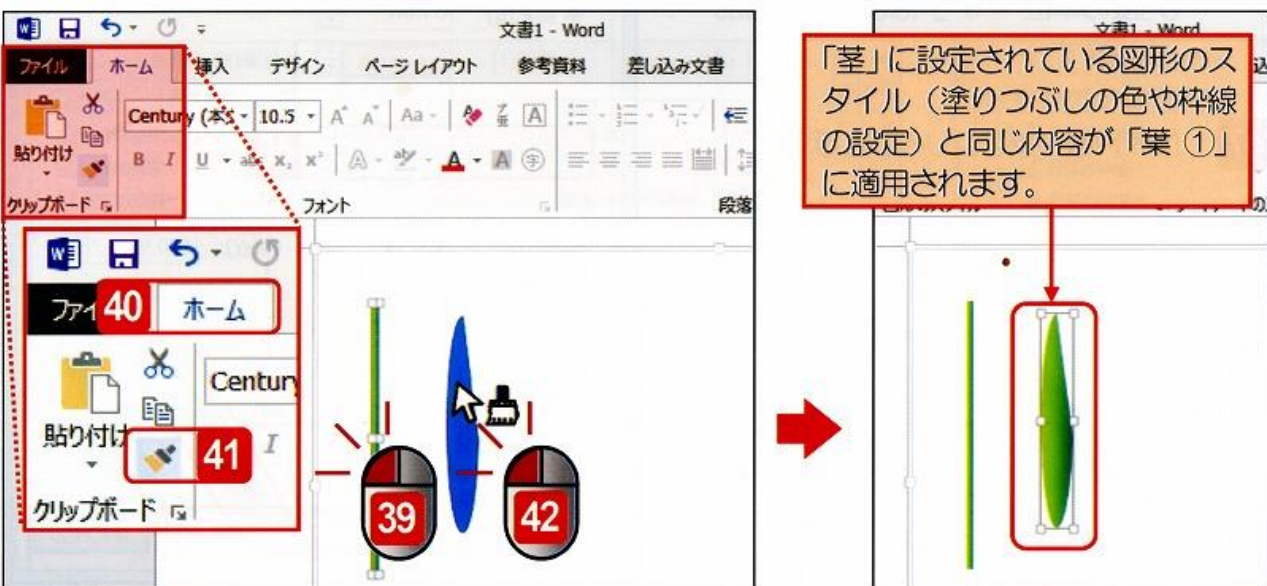


- 38** 「茎」の右横に弦を描き、**7** から **10** までと同様の操作で次のサイズを設定します。
 [サイズ] - [図形の高さ] : 40mm [図形の幅] : 6mm
 これを「葉①」とします。



- 39** 「茎」をクリックします。
- 40** [ホーム] タブをクリックします。
- 41** [クリップボード] グループの [書式のコピー/貼り付け] をクリックします。
- 42** マウスマウスカーソルが「矢印」と「刷毛」を組み合わせた形状 [] に変わるので、マウスカーソルを「葉①」の上まで移動してからクリックします。

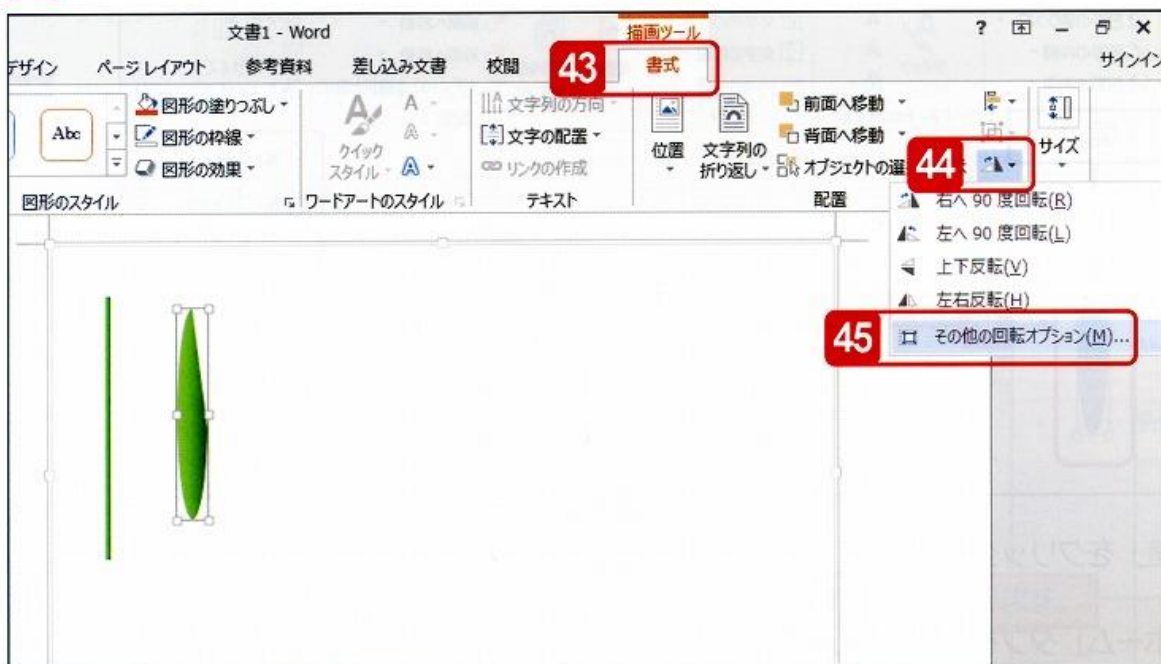
「茎」に設定されている図形のスタイル（塗りつぶしの色や枠線の設定）と同じ内容が「葉①」に適用されます。



43 「葉 ①」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

44 [配置] グループにある [オブジェクトの回転] をクリックします。

45 表示されるメニューから [その他の回転オプション] をクリックします。



[サイズ] タブの設定項目が表示された [レイアウト] ダイアログボックスが表示されます。

46 [回転] セクションにある [回転角度] の数値ボックスに「330」と入力します。(角度の単位「0°」は自動的に付加されます。)

47 [OK] ボタンをクリックします。



「葉 ①」が330° 回転します。

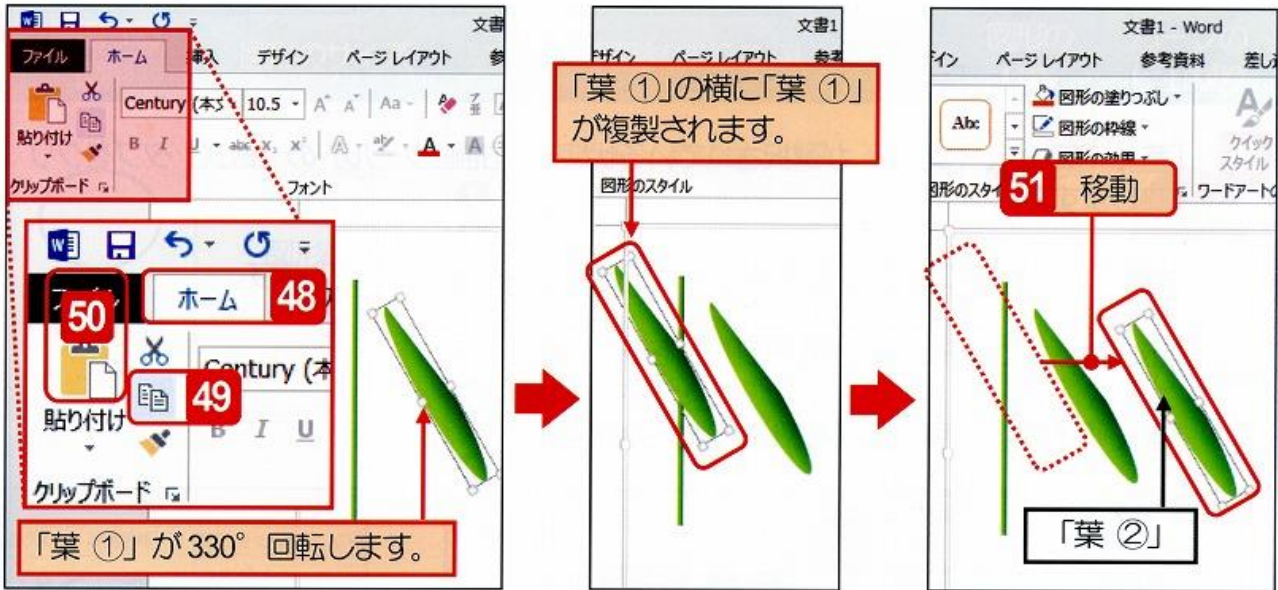
48 「葉 ①」が選択されている状態で、[ホーム] タブをクリックします。

49 [クリップボード] グループにある [コピー] をクリックします。

50 [クリップボード] グループにある [貼り付け] のアイコンをクリックします。

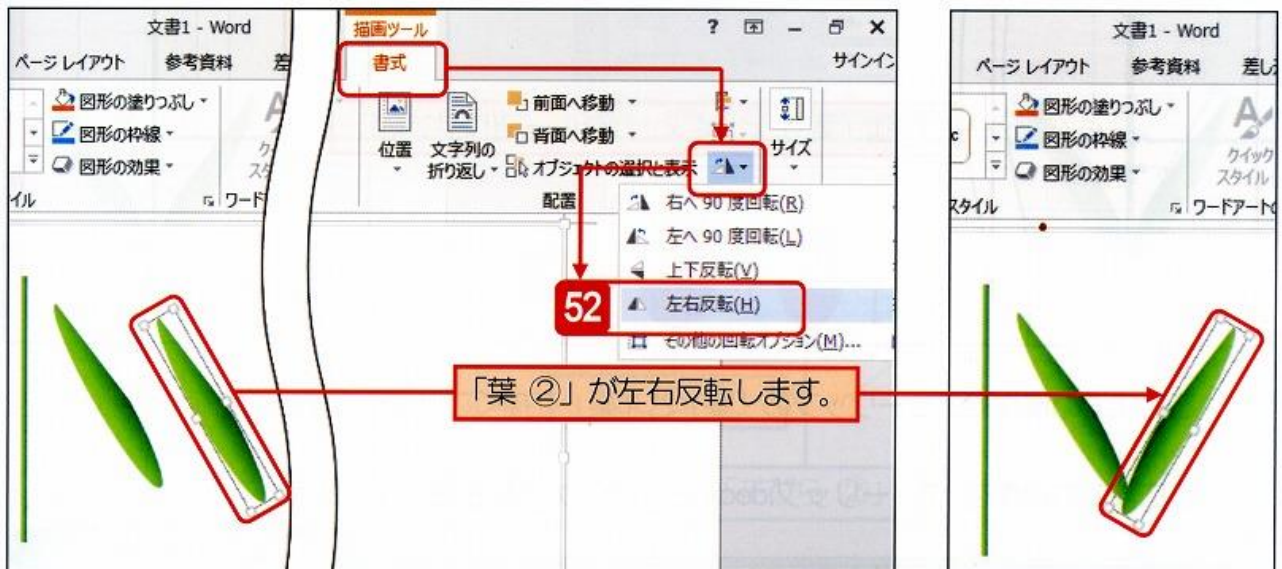
「葉 ①」の横に「葉 ①」が複製されます。

51 複製した「葉 ①」を「葉 ①」の右横に移動します。これを「葉 ②」とします。



52 「葉 ②」が選択されている状態で、**43** から **44** までと同様の操作で [オブジェクトの回転] のメニューを表示して [左右反転] をクリックします。

「葉 ②」が左右反転します。

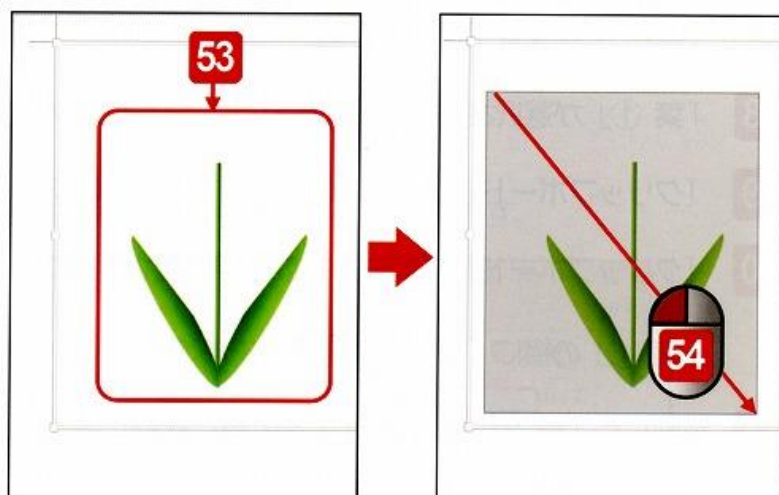


53 右の図を参考に「茎」、「葉 ①」、「葉 ②」を組み合せて

①、「葉 ②」を組み合せて

ます。

54 「茎」、「葉 ①」、「葉 ②」を
囲むようにドラッグします。



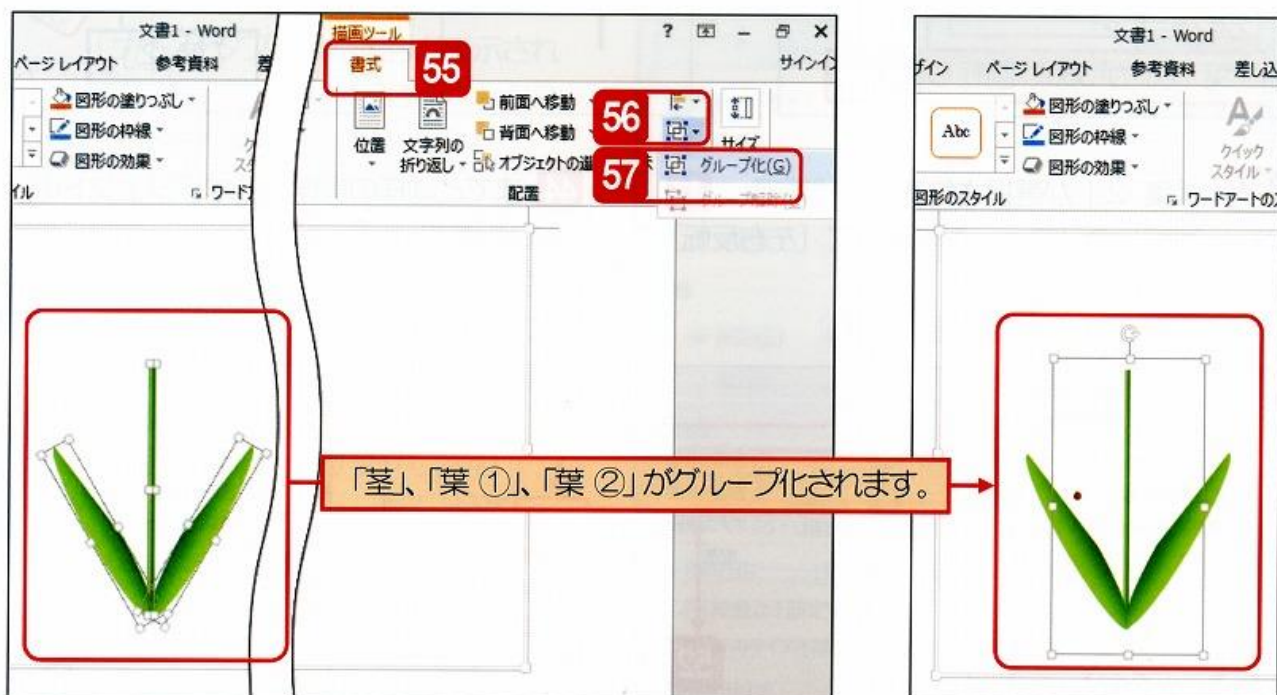
「茎」、「葉 ①」、「葉 ②」が選択されます。

55 「茎」、「葉 ①」、「葉 ②」が選択されている状態で、[描画ツール] の [書式] タブをクリ
ックします。

56 [配置] グループにある [オブジェクトのグループ化] をクリックします。

57 表示されるメニューから [グループ化] をクリックします。

「茎」、「葉 ①」、「葉 ②」がグループ化されます。



ここまでの操作でチューリップの「茎」と「葉」を描くことができました。

ここまでの操作を「チューリップ.docx」というファイル名を付けて保存しておきましょう。

操作終了

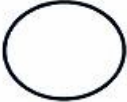







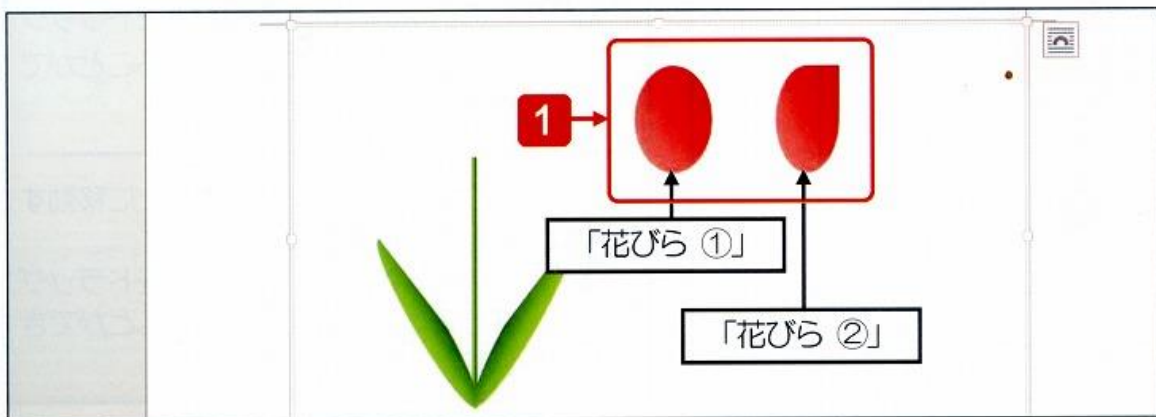
Step 2 チューリップの「花」を描きます。

Step 1 で学習した図形の描き方をもとにチューリップの「花」を描いていきましょう。
 なお、Step 1 で解説済みの図形描画については、設定内容と操作結果のみを記述しています。

操作開始

- 1** チューリップの「花」のパーツとなる「花びら ①」と「花びら ②」を、次の表に記述した設定内容にもとづいて「花びら ①」から「花びら ②」の順に描いてください。

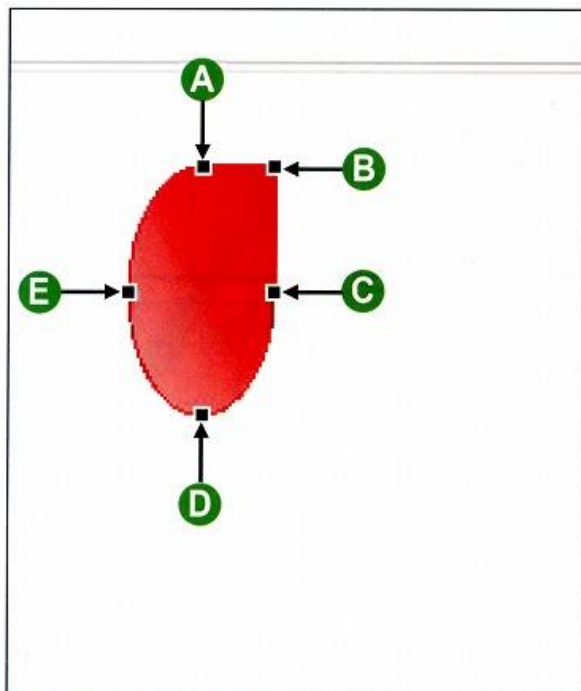
使用する図形	図形のサイズ	図形の塗りつぶし	図形の枠線	パーツの仕上がり
 [円/楕円]	図形の高さ 22mm 図形の幅 16mm	グラデーションの設定 ① 種類：線形 ② 方向：斜め方向 - 右上から左下 ③ 角度：135°  ④ 分岐点 1/2 の色 [赤]：255 [緑]：0 [青] 0 ⑤ 分岐点 2/2 の色 [赤]：255 [緑]：151 [青] 151	線なし	 「花びら ①」
 [涙形]	図形の高さ 22mm 図形の幅 13mm			 「花びら ②」



- 2 「花びら ②」をクリックします。
- 3 「花びら ②」が選択されている状態で、[描画ツール] の[書式] タブをクリックします。
- 4 [図形の挿入] グループにある [図形の編集] をクリックします。
- 5 表示されるメニューから [頂点の編集] をクリックします。



「花びら ②」に頂点 **A**、**B**、**C**、**D**、**E** が表示されます。
 (次の図は頂点を解説するために「花びら ②」を拡大表示しています。)




操作のポイント

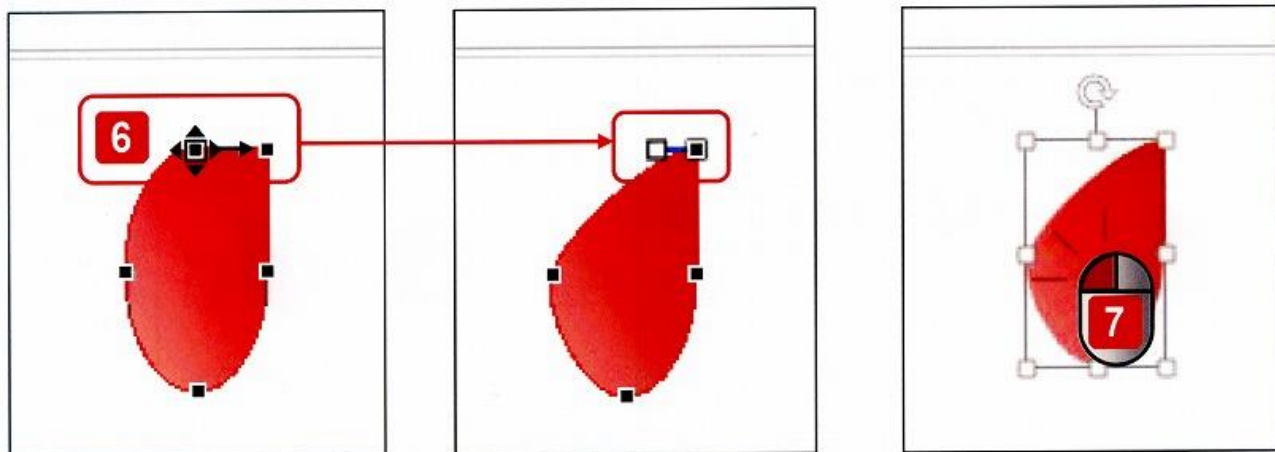
[頂点の編集] を実行するとマウスカーソルの形状が次のようになります。

マウスカーソルを図形の頂点の上に移動すると左の形状になります。
 この形状のときにはマウスをドラッグすることで頂点を移動させることができます。

マウスカーソル図形の線分上に移動すると左の形状になります。
 この形状のときにはマウスをドラッグすることで頂点を追加することができます。

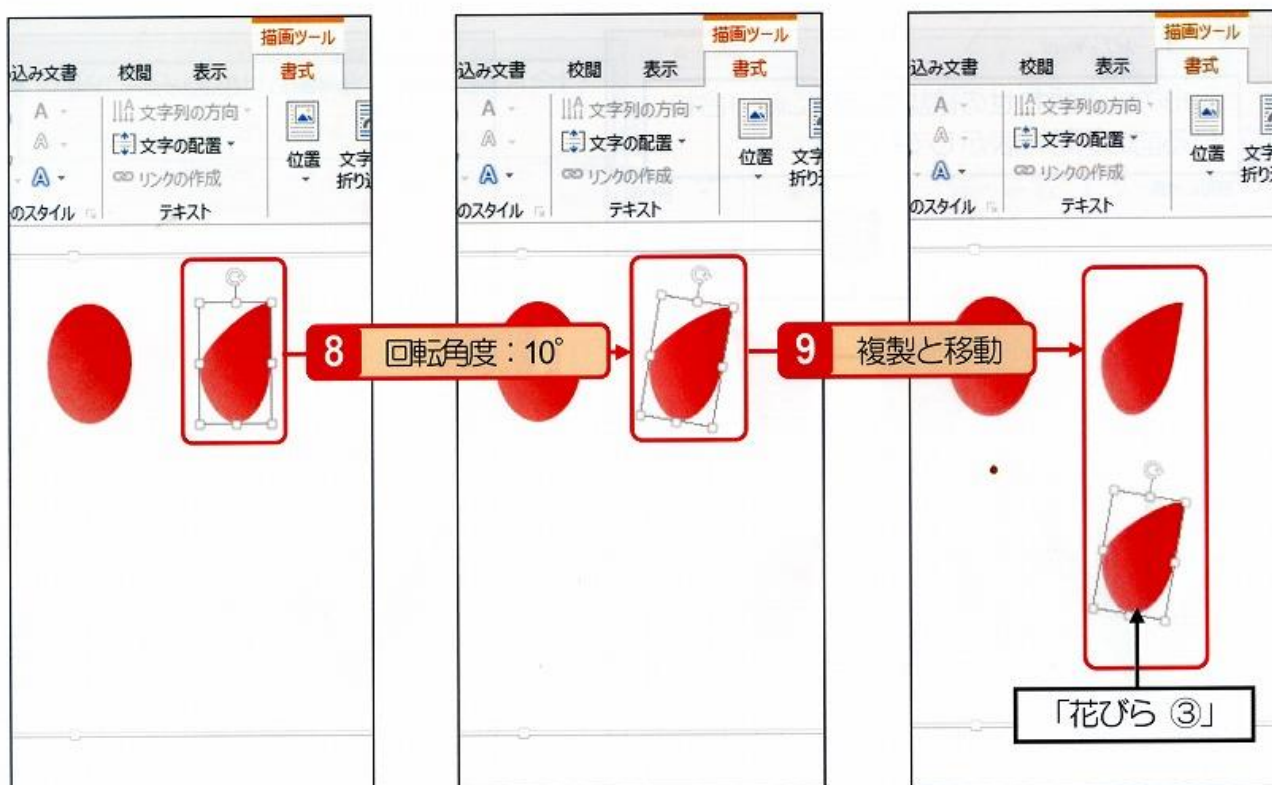
6 頂点 **A** の上までマウスカーソルを移動してマウスカーソルの形状が[]になったら、頂点 **B** と重なる位置まで水平にドラッグします。

7 「花びら ②」をクリックして「頂点の編集」を解除し、「花びら ②」が選択された状態にします。
(次の図は操作方法をわかりやすくするために「花びら ②」を拡大表示しています。)



8 「花びら ②」が選択されている状態で、Step 1 の 43 から 47 までと同様の操作で次の回転角度を設定します。
[回転角度] : 10°

9 「花びら ②」が選択されている状態で、Step 1 の 48 から 50 までと同様の操作で「花びら ②」を複製し「花びら ②」の下部に移動します。これを「花びら ③」とします。



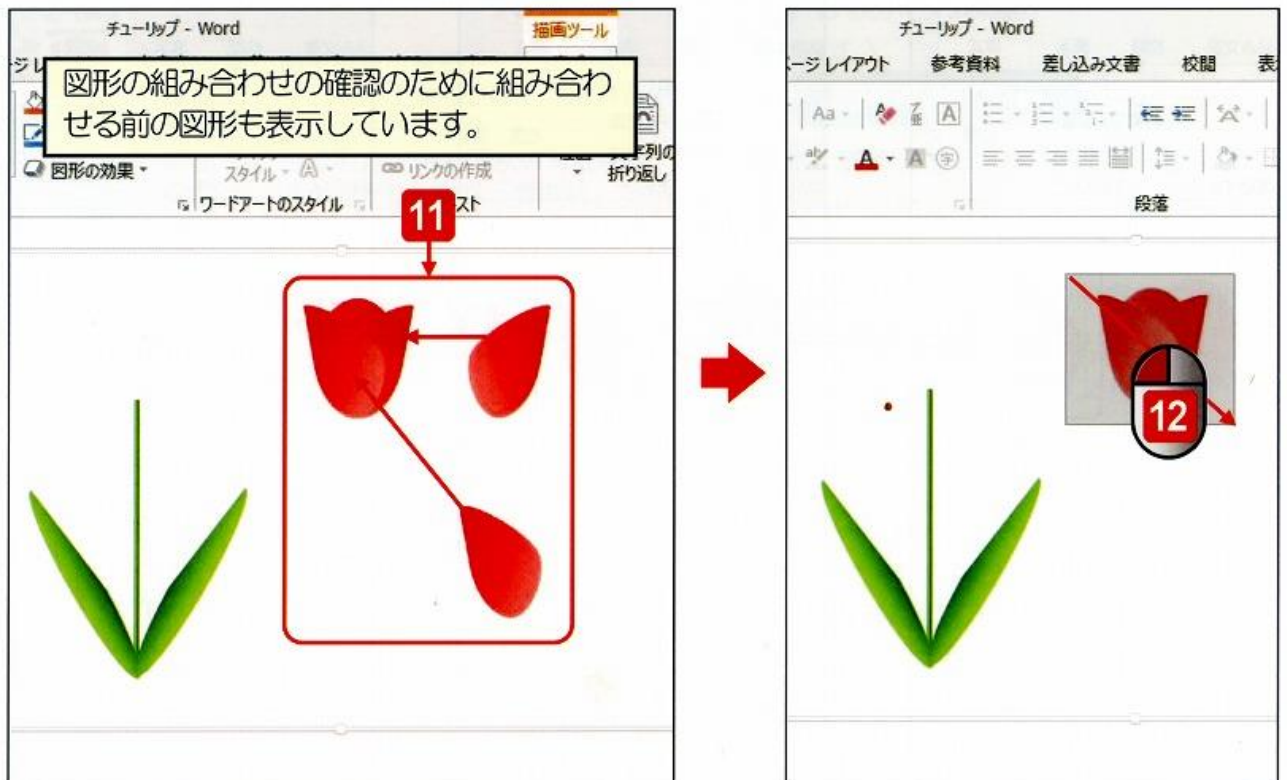
- 10** 「花びら ③」が選択されている状態で、Step 1の **43** から **44** までと同様の操作で [オブジェクトの回転] のメニューを表示して [左右反転] をクリックします。

「花びら ③」が左右反転します。



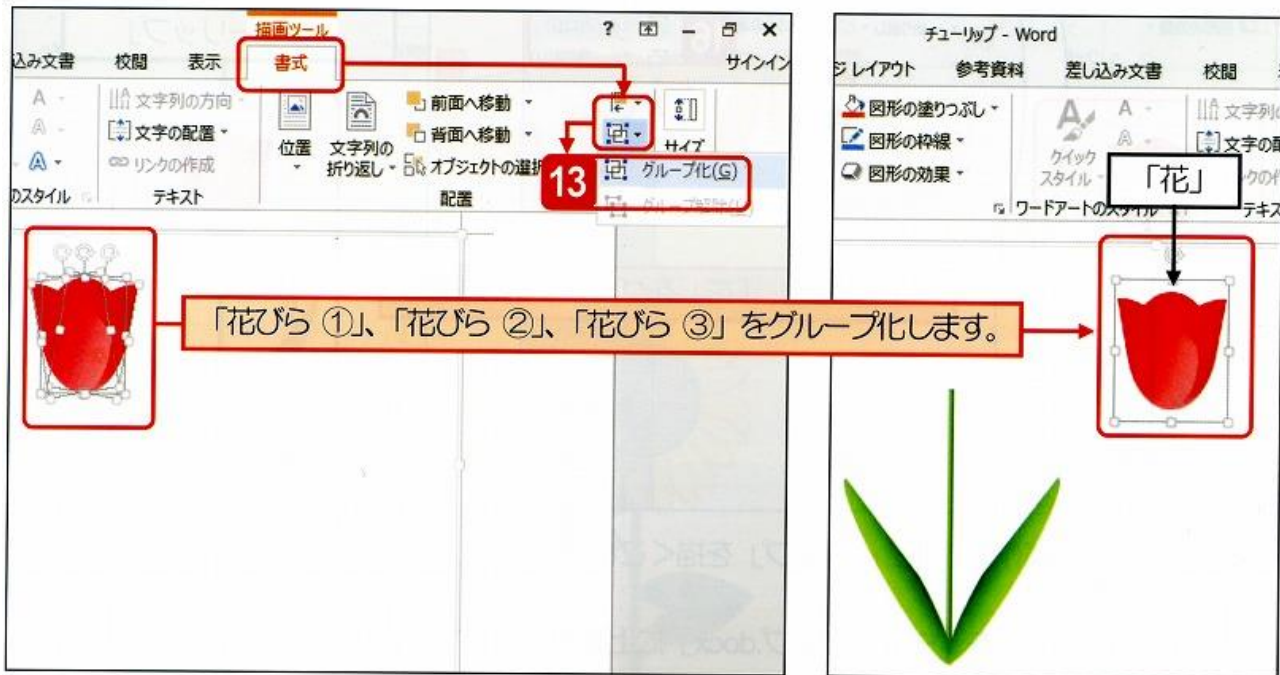
- 11** 次の図を参考に「花びら ①」、「花びら ②」、「花びら ③」を組み合わせます。

- 12** 「花びら ①」、「花びら ②」、「花びら ③」を囲むようにドラッグします。



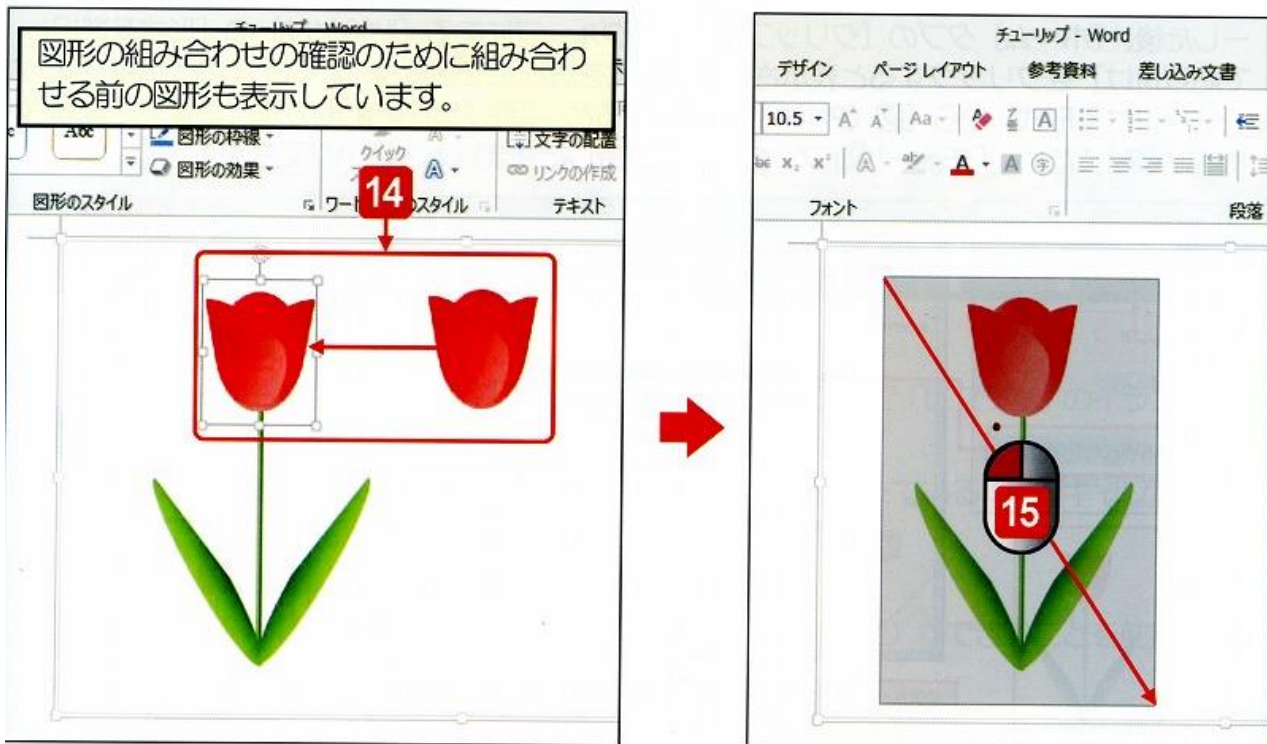
「花びら ①」、「花びら ②」、「花びら ③」が選択されます。

- 13** 「花びら ①」、「花びら ②」、「花びら ③」が選択されている状態で、Step 1 の **55** から **57** ま
でと同様の操作で「花びら ①」、「花びら ②」、「花びら ③」をグループ化します。これを「花」
とします。



- 14** 次の図を参考に「茎」の上部前面に「花」を組み合わせます。

- 15** 「茎」、「葉」、「花」を囲むようにドラッグします。




16 「茎」、「葉」、「花」が選択されている状態で、Step 1の**55**から**57**までと同様の操作で「茎」、「葉」、「花」をグループ化します。これを「チューリップ」とします。



ここまでの操作で「チューリップ」を描くことができました。

ここまでの操作を「チューリップ.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了 

参考：描画した「チューリップ」の利用方法 PNG形式の図に変換

「チューリップ」をクリップアート（挿絵）として利用するときには、「チューリップ」をコピーした後、[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [貼り付け] の [形式を選択して貼り付け] をクリックすると表示される [形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの [貼り付ける形式] から [図 (PNG)] を選択すると、図形の組み合わせが図（画像）に変換されて貼り付くため、「チューリップ」の形状を維持したまま拡大・縮小ができます。

